

学習規律

学習に集中できる環境づくりを

1 共通理解、共通実践

- ・全教職員が共通理解し、同じ方向を向いて指導する。共通実践が大事！
- ・教師自身が決まりを守る姿勢を示す。

2 学習規律の重点項目を絞る

- ・児童生徒の実態から、重点的に指導する項目を絞る。
- ・常に重点項目を見直し、レベルアップを図る。

3 誰もが分かるように指導

- ・学習規律を常に意識できるよう、掲示物等で表示する。
- ・ガイドブック等で教職員、児童生徒全員が確認できるようにする。



4 最初が大切

- ・学年の始めに、学習規律の指導を重点的に行うと、定着しやすい。
- ・学習規律を守ることが学力向上につながることなど、意義についても説明する。

5 チェックする機会を

- ・児童生徒自身が、自己評価をする機会を設定する。
- ・チェックした結果を表やグラフで表すなどし、「見える化」を図る。

6 粘り強く、繰り返す

- ・すぐに身につくものではない。日々、教師が意識的に根気強く指導する。
- ・注意ばかりではダメ！ できている子をほめて、注意を促すことも大切である。

7 小中連携、家庭・地域の協力

- ・小中で情報交換を行ったり、同じ目標を掲げたりし連携を図ると、効果が上がる。
- ・取組を通信等で積極的に発信し、学校・家庭・地域が同じ視点で指導する。

<学習規律のチェックリスト>

- ☐時間を守る ☐学習準備 ☐忘れ物 ☐服装
- ☐あいさつ ☐言葉づかい ☐姿勢
- ☐返事 ☐発表の仕方 ☐声の大きさ
- ☐聞く態度 ☐私語 ☐鉛筆の持ち方 など